

<12月のギャラリー展示>

『植物絵日記・冬』

■ 展示説明文

12月の展示は、れいこさんという人が4年半毎日描いた『植物絵日記』と『おいしい植物絵日記』の絵日記から、2010年12月、2011年1月の二ヶ月をコピーしたものです。絵日記をお借りする時、れいこさんに「絵を専門に描く人ではないのに、どうして一日も欠かさず4年半も描けたのですか？」と尋ねました。「私にとって、植物は原風景なんです。子供の頃、祖父が住んでいた家の周りは金木犀にぐるっと囲まれていて、いろんな植物が植えられていました。祖父は毎年ゆすらうめの実がなると、私に一粒くれて「あー、すっぱい」と言う私を見て満面の笑みになってくれていました。その庭は、ずっとそれから私を深呼吸させてくれたんです。」と、植物を好きになった思い出を話してくれました。植物絵日記と一緒に、小ビンに入った色鉛筆も見せてくれました。緑色だけこんなに短くなるそうです。れいこさんが、一生懸命植物を観察し、時に野菜の花や実る前の小さな表情も描いた『植物絵日記』のページをめくると、日常の中に小さな幸せを感じるように思えます。

■ ボランティアさんの繋がり説明文

『成人病等ニッチの植物便り』と病院のレストラン・喫茶に毎月送ってくれる植物のカレンダー』『植物絵日記』を描かれたれいこさんは、この病院ができる時、成人病棟ニッチの『植物たより』を担当してくれました。毎月病院のレストランと喫茶のために、カレンダー用の植物絵を、医療者の方々への感謝と患者さんの回復を願いながら描いて、送ってくださっています。

